

# 教宣 せぶん

株主総会総行動1日目

## エネルギー、満タン

将棋の世界ではまだ中盤だと思っていた局面が、指された一手によって一気に終盤に突入することがあります。

私たちの外勤社員としての雇用継続を求めるたたかいは、裁判に勝利することは目的を達成するための手段であって、目的はあくまで外勤社員としての雇用継続を勝ちとることです。地位確認訴訟で勝利判決を勝ちとって、最終的には労使協議の場で、会社が雇用継続を認めなければ、このたたかいは決して終わることはありません。前回の弁論で、裁判所が和解勧告を宣言したことは、労使協議が最終的な解決の場であるという前提に立てば、たたかいが一気に終盤を迎えたと言っても過言ではありません。もちろん、終盤だと思っていた局面でも、指された一手によってまた中盤に戻るといふこともあるので、どんな局面を迎えても、常に一生懸命、目の前の運動に全力をあげて取りくむことが必要ですが、株主総会をはさんで、重要な局面を迎えていることに間違いありません。

そんな状況下、本日より「株主総会1週間総行動」がスタートしました。東京・関西・新潟・その他組合員在籍地で、一日目のスタートの火蓋が切って落とされました。当地区では、ご支援をお願いしていて、遠方のため、なかなか顔出しできなかった先輩を訪問するなど、冊子販売、支援カンパ要請を中心に一日を過ごしました。

自宅に事務所を建て、代理店を営む先輩宅を初めて訪問しました。そこには、事務員の方を雇い、仕事の分担をハッキリさせ、たくましく個人代理店を経営している先輩の姿がありました。契約係社員として定年退職を迎え、その後嘱託社員を経て、現在個人代理店を営む先輩の姿は、まさに私たちが入社に際し、会社から説明された将来像であり、地域に密着し続ける契約係社員としての最終型、理想の姿でもあります。先輩は、ピラ配りを行うと言えば遠方から駆け付けてくれたり、株主総会があると言えば代表団に加わってくれたり、常に私たちのたたかいを支援してくれているのですが、今回も二つ返事で、支援カンパ、冊子購入に答えていただきました。

ご支援していただいている先輩から、またまたパワーをいただき、エネルギーを満タンにすることができました。重要な局面を迎えている舞台・東京に明日上がります。